sysmex

第55期　第2四半期株主通信
2021年4月1日—2021年9月30日
証券コード 6869

Be Fine!

株主の皆様とシスメックスをつなぐコミュニケーション誌

持続可能な社会へ ❻
環境への配慮 …… 5ページ

鉄道とマッターホルン（スイス）

Lighting the way with diagnostics

詳細な財務情報は、シスメックスのIRウェブサイトをご覧ください。 www.sysmex.co.jp/ir/

IFRS ※当社グループは2017年3月期より国際会計基準（IFRS）を適用し、IFRSに準拠して開示しております。

検査需要の堅調な回復に伴い、全地域で試薬売上が伸長し、増収・増益を達成しました。

代表取締役会長兼社長 CEO

家次 恒

いえつぐ ひさし

【出身地】大阪【略歴】大学を卒業後、銀行に13年間勤務。その後、東亞医用電子株式会社（現シスメックス株式会社）に入社。1996年代表取締役社長、2013年代表取締役会長兼社長を経て、2018年に現職に就任。【趣味】読書、スポーツ観戦【信条】「意あらば通ず」

ポイント1 ヘマトロジー分野*を中心に試薬売上が好調に推移し、全地域・全分野で増収

ポイント2 四半期利益*は、営業利益の増加や為替差損益の改善により増益

ステークホルダーの皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症（以下COVID-19）に罹患された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、感染の拡大防止にご尽力されている皆様に心より感謝申し上げます。

当社グループの2022年3月期 第2四半期の業績は、前年COVID-19の影響で減少した検査需要の回復に伴い試薬売上が伸長し、全地域において増収を達成しました。営業利益は、販売管理費が増加したものの、増収による粗利益の増加および原価率の改善などにより、増益となりました。四半期利益も、営業利益の増加や為替差損益の改善により増益となりました。売上高は前年同期比27.8%増、営業利益は同68.5%増、当期利益は75.8%増となりました。なお、前年同期の為替レートを適用した場合、売上高は前年同期比20.6%増、営業利益は同52.7%増となります。

分野別で見ると、ヘマトロジー・尿分野は試薬売上の伸長に加え、北米やEMEA地域を中心に機器売上も好調に推移し、増収となりました。また、COVID-19関連検査の需要により血液凝固・免疫・ライフサイエンス分野も伸長し、全分野で増収となりました。

2022年3月期の連結業績予想につきましては、期初想定に比べて為替レートが円安に推移している状況を踏まえ、想定為替レートを見直し、売上高は前年同期比18.0%増、営業利益は同27.4%増、当期利益は同32.8%増を見込んでいます。

配当につきましては、年初予想の通り、1株につき年間で74円（中間37円、期末37円）を予定しております。

ステークホルダーの皆様には、今後ともより一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

■2022年3月期通期業績予想 （億円）

	売上高	営業利益	当期利益
2021年11月発表	3,600	660	440
【参考】2021年3月期実績	3,050	517	331

■想定為替レート （円）

1USドル	1ユーロ	1中国元
110.9	130.5	17.0
106.1	123.7	15.7

本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。

*ヘマトロジー分野：血液中の赤血球や白血球などの数や種類、大きさを分析することにより、精密な検査が必要かどうかを判断するための検体検査分野。

通期　第2四半期

売上高 （億円）

前年同期比 **27.8%増**

営業利益 （億円）

前年同期比 **68.5%増**

四半期（当期）利益* （億円）

前年同期比 **75.8%増**

連結財政状態計算書の増減要因 （億円）

キャッシュ・フローの推移 （億円）

※現金及び現金同等物に係る換算差額も含まれております。

1株当たり配当金／配当性向

利益配分（配当）に関する考え方について：当社は、安定的な高成長を持続させるための積極的な投資と、収益性の向上に伴う株主の皆様に対する利益還元との適正なバランスを確保することを目指しております。株主還元については、継続的な安定配当に留意するとともに、業績に裏付けられた成果の配分を行うという基本方針のもと、連結での配当性向30%を目処に配当を行ってまいります。

*四半期（当期）利益：親会社の所有者に帰属する四半期（当期）利益。

IFRS ※当社グループは2017年3月期より国際会計基準（IFRS）を適用し、IFRSに準拠して開示しております。

地域別売上高（億円）

米　州

前年同期比 **30.2%増**　現地通貨ベース **26.7%増**

新型コロナウイルス感染症（以下COVID-19）の影響からの回復により、ヘマトロジー分野*の機器・試薬売上が伸長したことに加え、北米における尿分野の伸長もあり、増収

EMEA*

前年同期比 **33.5%増**　現地通貨ベース **23.6%増**

入札案件の獲得などにより、機器売上が堅調に推移したことに加え、各地域で試薬売上が回復し、増収

中　国

前年同期比 **25.3%増**　現地通貨ベース **12.6%増**

前年同期の医療インフラ強化に伴う需要増の影響などにより、機器売上が減少したものの、試薬売上が伸長し、増収

アジア・パシフィック

前年同期比 **24.5%増**

一部の地域を除き、COVID-19の影響からの回復により、ヘマトロジー分野を中心に全分野において売上が伸長し、増収

日　本

前年同期比 **20.1%増**

尿・血液凝固・免疫分野の売上が伸長したことに加え、COVID-19関連検査の需要もあり、増収

地域別売上高構成比

海外 **85.0%**

地域別売上高の増減（億円）

※各地域の売上高は為替の影響を除く

■為替レート（期中平均）（円）

	2020.3 第2四半期	2021.3 第2四半期	2022.3 第2四半期
1USドル	108.6	106.9	109.8
1ユーロ	121.4	121.3	130.9
1中国元	15.7	15.3	17.0

事業別売上高構成比

*EMEA：欧州、中東、アフリカ地域。

*ヘマトロジー分野：血液中の赤血球や白血球などの数や種類、大きさを分析することにより、精密な検査が必要かどうかを判断するための検体検査分野。

NEWS

新型コロナウイルス感染症への取り組み
PCR検査ラボを当社施設に移転し、機能を拡充

COVID-19の感染拡大防止に向け、シスメックスは、2020年6月に神戸市および株式会社エスアールエル（現H.U.フロンティア株式会社）とともに、国内初となる官民連携によるPCR検査ラボを開設しました。神戸市の行政検査や民間の医療機関からの受託検査など、これまでに2万件以上（2021年5月時点）の検査を実施してきましたが、さらなる検査数拡大と機能拡充に向け、当社研究開発センターへラボを移転・拡充しました。

現在このラボでは、川崎重工業株式会社と株式会社メディカロイドと共同開発した「自動PCR検査ロボットシステム」を導入したことで、前ラボの約5倍にあたる最大1,500件/日のPCR検査が実施可能となりました。このシステムは空港などへも設置され、検査の自動化により検査関係者の感染リスク低減にも寄与しています。

自動PCR検査ロボットシステム

研究開発センター

GPIFが採用する全てのESG*投資指数の構成銘柄に継続して選定

昨年に引き続き、シスメックスは日本の公的年金資金を運用するGPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）が採用する全ての「ESG投資指数」に選定されました。これらの指数は、企業のESGへの取り組みに注目する世界の投資家から重要な判断基準として幅広く活用されています。

■GPIFが採用する4つの「ESG投資指数」に採用
- 「FTSE Blossom Japan Index」
- 「MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数」
- 「MSCI日本株女性活躍指数（WIN）」
- 「S&P/JPXカーボン・エフィシェント指数」

FTSE Blossom Japan

2021 CONSTITUENT MSCIジャパン ESGセレクト・リーダーズ指数

2021 CONSTITUENT MSCI日本株 女性活躍指数（WIN）

S&P/JPX カーボン エフィシェント 指数

■世界の代表的な「ESG投資指数」に採用
- 「FTSE4Good Index Series」
- 「MSCI ESG Leaders Indexes」
- 「MSCI SRI Indexes」

FTSE4Good

2021 MSCI ESG Leaders Indexes Constituent

投資家が投資判断時に活用する情報のひとつに「統合報告書」があります。
シスメックスも「統合報告書」および「サステナビリティデータブック」において中期的な価値創造について財務・非財務情報を掲載していますので、ぜひご覧ください。

●シスメックスレポート2021（統合報告書）
https://www.sysmex.co.jp/ir/library/annual-reports/index.html

●シスメックス サステナビリティデータブック2021
https://www.sysmex.co.jp/csr/report/index.html

次ページでESGのうちE（環境）に関する取り組みを詳しくご紹介します。

*ESG：環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の頭文字から作られた言葉。

持続可能な社会へ――⑥

環境への配慮

関連するSDGs*

持続可能な社会を実現し、社会とともに発展し続ける企業であるための、シスメックスのサステナビリティ（持続可能性）への取り組みについて紹介する当シリーズ。今回は、シスメックスが優先的に取り組むべき課題のうち「環境への配慮」について解説します。

社会背景

環境問題の顕在化により、世界的な関心と企業対応への期待が高まる

気候変動への影響緩和をはじめ、水資源・鉱物資源などの利用効率化、生物多様性の保全など、地球環境の持続可能性確保は喫緊の課題となっています。2015年に「SDGs」と「パリ協定」が採択されたように、環境問題は国際社会が一体となって解決に取り組むべき重要課題であり、とりわけ企業が果たす役割への期待が高まっています。

シスメックスの取り組み

環境負荷低減への取り組みを通じ、市場競争力を強化

シスメックスは、グローバルに事業を展開する企業として、「事業活動における環境負荷低減」を重要な課題のひとつであると認識しています。例えば、気候変動による大規模な自然災害は原料調達や製造機能の停止など事業活動へ大きな影響を与える恐れがあります。

そこで、長期的な環境マネジメントの指針として2025年度を最終年度とする「シスメックス・エコビジョン2025」を策定し、製品ライフサイクルにおけるCO_2排出量や水消費量の削減、生物多様性の保全などに取り組んでいます。加えて、2021年にはTCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）の提言に賛同し、それに基づく情報開示を進めています。

こうした対応を進めることは、企業としての社会的責任であると同時に、ユニークな取り組みを行うことで市場での競争優位性確立につながると考えています。

■長期環境目標（2025年度）
※ シスメックス・エコビジョン2025にて策定

CO_2排出量の削減※	
機器製品の使用時において	15%削減
事業活動において	50%削減
出荷物流において	15%削減
水消費量の削減※	
機器製品の使用時において	15%削減
事業活動において	15%削減
資源循環の推進	
事業活動において リサイクル率	93%以上
生物多様性の保全	
脱動物由来原料製品の ラインアップ拡充	

※ 基準年度を2016年度とする原単位目標

*SDGs：2015年9月の国連持続可能な開発サミットで採択された、2030年までの「持続可能な開発目標」。

事業を通じた環境負荷低減への取り組み

シスメックスは製品ライフサイクル全体での環境負荷低減を目指し、あらゆる事業活動の段階で、省電力化やCO_2排出量の削減をはじめとするさまざまな取り組みを実施しています。

■主な取り組み

事例1 濃縮試薬の開発・提供により、環境負荷低減とユーザビリティ向上を両立

ヘマトロジーや血液凝固検査などの一部の測定機器では、従来試薬を25倍に濃縮した試薬を提供しています。この濃縮試薬は、重量・体積のコンパクト化により輸送時のCO_2排出量を抑制できるだけでなく、容器・包装材料の削減（省資源化）やパッケージを従来のポリエチレンから紙パックに変更することによる石油資源の節減なども実現します。加えて、検査室での試薬の交換頻度の低減や在庫保管の省スペース化などユーザビリティの向上にも大きく貢献しています。

■25倍濃縮試薬

事例2 カイコを利用した原料生産における生物多様性と環境への配慮

シスメックスは、天然資源の使用抑制を目指して、試薬の原料となるタンパク質を動物由来原料に代わり遺伝子組み換えをしたカイコから生産する手法を確立しました。従来の原料生産には多くのエネルギーを消費していましたが、遺伝子組み換えカイコは一般室内飼育が可能なうえ、容器内で人工餌を与えるだけでよいため、安定供給が図れるとともに、省エネルギーや廃棄物削減が期待できます。2017年度に発売を開始した血液凝固試薬の原料生産をはじめ、カイコを用いたタンパク質の受託生産も行っており、製薬企業、大学、研究機関等に原料物質を提供しています。

■カイコ法使用時における従来法との比較（血液凝固検査の試薬）

※自社製品による比較（東京都市大学との共同研究による）

Topics ■トピックス■

株主様アンケートのお願い

今後の充実した誌面づくりのため、
アンケートへのご協力をお願いいたします。

子会社「シスメックス国際試薬」を2022年4月に吸収合併

シスメックスの完全子会社として臨床検査用試薬の製造・販売を行うシスメックス国際試薬株式会社を、2022年4月に吸収合併する契約を締結しました。今後もシスメックスグループにおける診断薬生産に関わるコーポレート機能の強化および効率性・生産性の向上を目指します。

社長が当社事業をご説明する「会社説明会」動画を公開

シスメックスのビジネスや取り組みへの理解を深めていただくため、当社ホームページ上に社長自ら事業をご紹介する動画を公開しました。

動画はこちらから https://www.sysmex.co.jp/ir/library/indivisual_presentations/index.html

分かりやすく解説しています。**ぜひご覧ください！**

Twitter & LinkedIn公式アカウントの開設

TwitterとLinkedInの公式アカウントを開設しました。当社に関する最新のニュースやトピックスのほか、製品・サービスを通じた医療課題解決など持続可能な社会への貢献に向けたシスメックスの取り組みを発信しています。ぜひフォロワー登録をお願いします。

シスメックス株式会社公式アカウント

Twitter（日本語）
https://twitter.com/SysmexJP

LinkedIn（英語）
https://www.linkedin.com/company/sysmex-corporation

「株主様会社見学会」開催見送りのお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、「株主様会社見学会」の開催を、今年も見送ることといたしました。楽しみにお待ちいただいていた株主様には大変申し訳ありませんが、再開後の機会をお待ちくださいますようお願いいたします。

会社概要

（2021年9月30日現在）

■商号　シスメックス株式会社
SYSMEX CORPORATION
■設立年月日　1968年2月20日
■資本金　133億1,444万円
■格付け　AA-　（R&I：格付投資情報センター）
■従業員数　9,687名（連結）2,776名（単独）
＊嘱託・パートタイマーなどを含む
■主な事業内容　臨床検査機器、検査用試薬ならびに関連ソフトウェアなどの開発・製造・販売・輸出入

株主メモ

■事業年度　毎年4月1日から翌年3月31日まで
■定時株主総会　6月
■基準日
定時株主総会　3月31日
期末配当金　3月31日
中間配当金　9月30日
その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
■公告方法
当会社の公告方法は、電子公告とします。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
電子公告掲載ホームページアドレス　www.sysmex.co.jp/ir/

■上場証券取引所　東京証券取引所市場第一部
■証券コード　6869
■単元株式数　100株
■株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関
〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
■同連絡先（郵便物送付先・電話照会先）
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話　0120-094-777（通話料無料）

お知らせ
1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。　2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り次ぎいたします。　3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

シスメックス株式会社
神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1 〒651-0073　Tel 078-265-0500　Fax 078-265-0524　www.sysmex.co.jp

再生紙、植物油インキを使用しています。